【移行期版】

小学校外国語活動授業づくり ブックレット

Chichibu English Challenge

チチブ イングリッシュ チャレンジ

秩父市英語教育推進委員会

秩父市教育委員会

CONTENTS（9つのチェック）

チェック1　新学習指導要領移行期間の外国語活動　P.1

チェック2　小学校で外国語を教える心構え　P.2

チェック3　単元計画の作り方　P.3

チェック4　外国語活動　授業の流れ・パターン　P.4

チェック5　学級担任・ALT・ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの役割分担　P.5

チェック6　Classroom English　P.6

チェック7　絵本の読み聞かせ（帯活動）　P.7

チェック8　教材・教具・指導資料　P.8

チェック9　先生方を支える強い味方　P.9

子供たちの将来、英語は今よりもっと必要になっていることでしょう。世界の人々とコミュニケーションができる子供たちに！

新学習指導要領移行期間の外国語活動

授業時数

学　年	移行期間 平成３０年度	移行期間 平成３１年度	全面実施 平成３２年度
１・２年生 （英語活動）	１０時間程度	１０時間程度	１０時間程度
３・４年生	**１５時間**	**１５時間**	３５時間 （週１回）
５・６年生	**５０時間**	**５０時間**	７０時間 （週２回）

日課表

・各校、カリキュラム・マネジメントにより柔軟な時間割編成を行う。
（時間割・日課表・年間行事計画等の工夫、週２９コマの実施、総合的な学習の時間との振替）　＊移行期間中、モジュール授業は行わない。

学習内容

５・６年生：これまで扱ってきた内容(Hi,friends!)に加えて、外国語科の内容を扱う。外国語科の内容については中学校との接続の観点から最低必要な内容とそれを活用して行う言語活動を中心に扱う。

３・４年生：高学年との接続の観点から、最低限必要な内容と、それを活用して行う言語活動を中心に取り扱う。

参照
①埼玉県教育委員会　移行の手引き　【平成２９年１２月】
②秩父市教育委員会　外国語活動年間指導計画（移行措置期間）

評価

・移行期間に追加して指導する部分も含め、現行学習指導要領の下の評価規準（３つの観点）に基づき、学習評価を行う。

指導要録

５・６年生：【現在の取扱いと同様】数値による評価は行わない。
３・４年生：総合所見及び指導上参考となる諸事項を記録する欄に外国語活動の学習に関する所見を文章で記述する。

小学校で外国語を教える心構え

先生が楽しむ → 児童に伝わる → 先生も児童も達成感 → 記憶にのこる

何よりも先生自身が楽しむこと

先生の「英語に対する不安」は児童にも伝わってしまいます。逆を言うと先生が思いっきり楽しめば、児童も英語の授業が楽しくなるのです。

発音などに気を遣いすぎず、正しい英語を使わなければと気負いしすぎず、まずは先生自身が堂々と楽しむ！！これこそが、イキイキとした授業づくりの第一歩です。

まずは褒め言葉や簡単な指示から英語を

英語を学ぶ楽しさを伝え、「もっと英語を話したい！伝えたい！学びたい！」という児童のやる気を引き出すためには、やはりプラスの言葉がけが大切です。難しい英語を使う必要はありません。Good job!やExcellent!などの褒め言葉を、授業の中にたくさん散りばめましょう。身ぶり手ぶりや表情をつけるとより効果的です。

日本語をつかってはいけないの？

児童の特性をとらえ、より効果的な発問や支援ができるのはやはりHRTです。場面や目的、状況を考え、英語の必要性を損なわない程度に日本語もぜひ活用してください。

【日本語を効果的に使うコツ】

- 学級運営の視点から、個別の支援・ユーモアやジョークで和ませたい時
- 理解不足を補ったり、より具体的に児童を褒めたい時
- 児童から授業における気づきを引き出したり、授業のふりかえりをする時

児童のやる気を引き出す活発な授業展開のために

- ●児童の興味をそそる題材選び
- ●歌やチャンツ・絵本の活用
- ●他教科と関連させた組み立て
- ●ペア・４人程度のグループ活動

単元計画の作り方

単元計画作成のメリット

〇教師にとって

⇒　・最終目標を設定することにより、授業で目指す内容が明確になる。
・単元導入時に単元最後の活動を児童に提示することが可能になる。
・一回一回の授業のめあてを明確にすることができる。

〇児童にとって

⇒　・単元の最後に、どのような活動をするのかイメージをもつことができる。
・学習内容の目的が明確になる。
・一回一回の授業の学習内容により必然性を感じることができる。
・単元末には、自分自身の変容を感じることができる。

単元計画の構成

第１時　　語彙・表現の導入

第２時　　語彙・表現の練習（ゲーム等）

第３時　　語彙・表現を使った活動

気付き

慣れ親しみ

第４～５時　　単元末のコミュニケーション活動

単元計画作成の方法

単元計画はバックワードデザインで作る！

単元のゴールを明確にしてから、単元末から第１時へ逆向きに授業プランを作る。

STEP１：単元ゴールを明確にする
STEP２：（第５～４時）友達と協力しながら活動をするコミュニケーション活動
STEP３：（第３時）英語の表現を使いながら友達とやりとりをして慣れ親しむ活動
STEP４：（第２時）新しい語彙や表現に慣れ親しむ活動
STEP５：（第１時）新しい語彙や表現の導入

外国語活動　授業の流れ・パターン

過程	指導者の動き	例えばこんな活動を・・・
つかむ	①あいさつ(Greeting)　英語で話しかける最初の言葉、簡単でありながら心のこもるあいさつ	
	②ウォームアップ(Warming Up)　日本語思考を英語思考に切り替えるスイッチ	
	・児童がすでに知っている語彙を使う。 ・英語のリズムに乗りやすいものを選ぶ	・英語の歌　・チャンツ ・簡単な英語の会話　・絵本の活用
	③復習(Review)　２回目の授業からは、できるだけ前時の復習になる活動	
	・前時で扱った語彙を復習する。 ・前時の表現の復習として、既習事項を使い、英語で質問をする。（児童たちの興味を喚起し、英語で答えたくなるような質問をする。）	・Small Talk (Teacher's Talk) ・前時で扱った語彙の復習 ・簡単な英語クイズ
	④本時のめあての提示（Today's Target）	
	・日本語で本時のめあてを提示する。	・黒板に板書などして提示する。 ・「～しよう」のような形で行動目標を提示。
考える	⑤導入(Introduction)　本時の指導目標となっている表現の導入	
	・新しい語彙・表現を導入する。 ・指導目標の表現の使用場面を具体的に示す。 ・英文をたくさん聞かせて、意味を推測、理解させる。	・ピクチャーカード等で新しい語彙を導入。 ・ALT とのデモンストレーションを見せ、新しい表現を何度も聞きとらせる。
	⑥練習(Practice)	
	・導入した語彙や表現を練習する。	・ピクチャーカードを使って ALT が発音のモデルになる。
深める	⑦活動(Activity)　本時の表現等を使って、慣れ親しむためのゲームやｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ活動を行う	
	・語彙や表現に慣れ親しむゲームなどの活動。 ・ゲーム等で十分に慣れ親しんだ後は、自分のことを伝え合う活動を行う。 ・児童の知っている語彙を使って入れ替えながら、表現の内容を膨らませていく。	・ペアやグループでの活動を行う。（やりとり） ・教材に含まれる様々なゲーム。 ・インタビュー活動。 ・インフォメーションギャップ。 ・ＡＬＴとのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを最終目標にする。
確かめる	⑧まとめ(Check)　本時の学習のめあての達成度を確認する。次時への期待感をもたせる。	
	・本時のめあてとまとめが一体化するようにする。＊めあてによってはまとめを省き、ふり返りのみを行う場合もある。	・先生が短くポイントを確認する。 ・児童との対話から子供の言葉でまとめる。
振り返る	⑨ふり返り(Reflection)　児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	
	・本時の授業全体のふり返りを行う。 ・時間があれば児童に発表させる。	・児童自身の言葉で本時をふり返る。 ・学級担任や ALT のフィードバック。 ・振り返りカード等の活用。
	⑩あいさつ(Greeting)　次時へつなげる、明るく元気なあいさつをする。	

学級担任（HRT）・ALT・ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの役割分担

【授業前・授業準備】

ＨＲＴ	・児童と単元の内容を考慮した授業の計画をつくる。 ・授業中の役割分担を示し、指導計画等について打ち合せをする。 ・単元のゴールや授業のめあてを事前に決定する。
ＡＬＴ	・ＨＲＴが考えたコミュニケーション活動に必要な教材・教具を準備する。 ・単元に関連して提示できる単語や表現、自国の文化等を紹介する素材を準備する。
コーディネーター	・HRT が指導計画を作る際に、必要なアドバイスをする。 ・ＨＲＴが作成した指導計画を英語訳し、打ち合せ等でＡＬＴに提示する。 ・打ち合せにおいてＨＲＴとＡＬＴの意思疎通の橋渡しをする。 ・ＨＲＴが考えたコミュニケーション活動に必要な教材・教具を準備する。

【授業中】

ＨＲＴ	・授業の進行をする。（授業のハンドルをにぎる） ・挙手した児童を指名する。 ・児童の理解度を確認しながら授業を進める。 ・振り返りでは、児童の様子について「情意面」で気づいたことを誉める。
ＡＬＴ	・ＨＲＴとともに活動の仕方を説明する。 ・ネイティブ・スピーカーとしての正しい発音を繰り返し聞かせることで発話のモデルになる。 ・振り返りでは、児童の様子について「技能面」で気づいたことを誉める。
コーディネーター	・必要に応じてＩＣＴ機器の操作や教材教具の準備等を行う。 ・必要に応じて、会話のモデルとして支援する。 ・ALT が不在の時（担任の希望があるときに限り）、場合に応じて T2 の役割を担う。

【授業後】

・その日の授業を振り返り、改善方法等についてＨＲＴ・ＡＬＴ・コーディネーターで話し合う。（次時に向けての打ち合せを少しの時間でももつ）

⇒ **詳しくは「小学校外国語・外国語活動における効果的なティーム・ティーチングの進め方（秩父市教育委員会）」をチェック！**

Classroom English

教室英語表現集

ここでは、英語活動の授業で使うクラスルームイングリッシュの例を挙げました。
教室でどんどん英語を使いましょう。
・簡潔にゆっくり、はっきり伝えることがポイントです。
・ジャスチャーを加えたり、絵や図で示すなどの工夫も効果的です。
・指示を出す際には、文頭や文末に Please を加えるとよいです。

授業の始まり、挨拶など

「おはようございます・こんにちは。」	Good morning / afternoon.
「英語の時間です。」	It's time for English class.
「元気ですか。」	How are you?
「今日は何曜日ですか。」	What day is it today?
「今日は何月何日ですか。」	What's the date today?
「今日の目標（めあて）です。」	This is today's goal.
「準備はいいですか。」	Are you ready?
「始めましょう。」	Let's begin.

活動中の指示など

「チャンツを練習しましょう。」	Let's practice a chant.
「こちらに来なさい。」	Come here.
「机を後ろに下げなさい。」	Move your desks to the back.
「２チーム(円、列)になりなさい。」	Make two team (circle / line).
「席に戻りなさい。」	Go back to your seat.
「テキストの～ページを開きなさい。」	Open your text book to page ～.
「テキストを片付けなさい」	Put away your textbook.
「(この絵を)見なさい。」()	Look (at the picture).
「(CD を)聞きなさい。」	Listen (to the CD).
「一緒に読みましょう。」	Let's read together.
「よく見てまねをして書きなさい。」	Watch and copy carefully.
「点と点を線で結びなさい。」	Connect the dots.
「終わりです。」	Time's up.
「はい、どうぞ。」（プリント等渡す時）	Here you are.

ほめる/励ます

「よくできました。」	Good./ Good job./ Wonderful.
「ありがとう。」	Thank you.
「がんばったね」	Nice try.
「おしい！」	Close./ Almost.

授業の終わり

「今日のふり返りをしましょう。」	Let's review today's class.
「今日はこれで終わりにします。」	That's all for today.
「また次回会いましょう。」	See you next time.

⇒　更に詳しくは「小学校外国語活動で使えるほめ言葉集（秩父市教育委員会)」をチェック！

絵本の読み聞かせ（帯活動）

授業の中で５～１０分ほどの短い時間で継続的に絵本の楽しさに触れさせる活動を行います

第３学年（移行期間）【単元内容を帯活動として扱う】

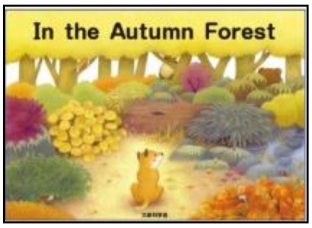
〇単元　９　Who are you? “In the Autumn Forest”「きみはだれ？」

〇単元目標【現行の外国語活動の観点】

【コ】進んで、絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、台詞を真似て言おうとする。

【慣】「誰か」と尋ねたり、それに答えたりする表現に慣れ親しむ。また、絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。

【気】日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く。

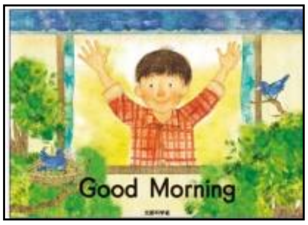


〇主な活動例

- 既習の語彙（色、形、動物等）を使いながら絵を見せる。
- 絵本を読み聞かせたり、絵本の内容について質問に答えたりする。
- 台詞を真似て言う。

第４学年（移行期間）【単元内容を帯活動として扱う】

〇単元　９　This is my day.　"Good Morning"　「ぼく・わたしの一日」



〇単元目標

【コ】進んで、絵本などの短い話を反応しながら聞こうとする。

【慣】日課を表す表現に慣れ親しむ。絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容がわかる。

〇主な活動例

- 既習の語彙（時間、数、人物、動作等）について、絵を見せながら聞かせる。
- 絵本の読み聞かせを聞いたり、絵本についての質問に答えたりする。
- 校内の先生の生活について聞き、どの先生かを当てる。

＊新学習指導要領の完全実施以後は、単元９は１単元扱いとなり上記の「帯活動」扱いではなくなります。

絵本の読み聞かせ（帯活動）の活動例

１　位置づけ

（１）あいさつの後（ウォーミングアップの位置づけとして）

（２）Activity の後、前時の復習の前（時間配分に気をつける。）

２　活動例

（１）絵本の内容を聞かせる。

①デジタルデータ(〝Story Books〟)の視聴をする。

②HRT や ALT が絵本を見せながら、読み聞かせをする。

留意点：どこまでを聞き取らせるかを明確にしておく。
　　　　ゆっくり、何度も、児童の反応を見ながら聞かせる。
　　　　動物の鳴き声のまねや、擬音、ジャスチャーを多用し、表情豊かに読む。
　　　　登場人物やポイントの部分を指さししながら十分に聞かせる。
　　　　時折質問をしながら、絵本の世界に児童を引き込む。

例：「これは何かな」→「森にいる動物」、「何をしているのかな」→「ある少年の一日」

例：「どんな単語が聞き取れましたか。」→「ネズミ(mouse)」、「Good morning」

（２）絵本に出てくる単語・語句の導入（ピクチャーカード１～５枚程度分　など）

留意点：５枚×６時間＝３０枚（６時間を目安とした場合）
　　　：該当のスライドを先に視聴させることも効果的

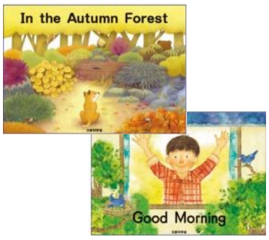
活動例：①リピート（ALT の発話やデジタル教材の音声に真似て言う）
　　　　②チャンツや絵本を活用したゲームを行いながら、慣れ親しませる。

⇒　「小学校の新たな外国語教育における補助教材（Hi, friends! Story Books）作成について（第３・４学年用）」（文部科学省 HP）」もチェック！

教材・教具・指導資料

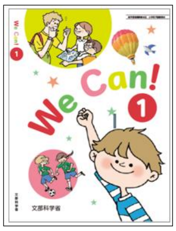
教師が安心して授業をしたり、児童をやる気にさせたりするため活用できるものがたくさんあります。

1．ピクチャーカード	○英語の音声と意味を結びつけることができる。 ○「○×カード」などを用意しておくと、活動の幅をひろげることができる。 ○文字指導が始まることを見据えて、絵と文字が入ったものを活用するとよい。
2．音声機器	○CD を活用して歌を学習に取り入れることで楽しく活動に参加したり、外国語独特のリズムやイントネーションをくり返し聞くことで、英語の音声やリズムを自然に身につけたりすることができる。 ○デジタル教材（Hi, friends！ Plus など）を活用すると、ALT の有無に関わらずネイティヴな発音に触れさせることができる。
3．絵本	○児童の興味・関心を引くことができ、英語の音声をくり返し聞くことで慣れ親しませることができる。 ○読み聞かせ活動では、児童が指導者の英語を聞き、絵の助けを借りて「英語を聞いて意味が分かる体験」をすることができる。 ○一方的にきかせるのではなく、絵本の絵やあらすじについて質問したり、間を取ったりしながら、児童のつぶやきやくり返しを引き出すようにする。
4．ICT の活用	○デジタル教材、インターネットなど映像をデジタルモニターで映すなどで、児童の興味・関心を高めることができる。 ○視覚的に英語の音声を触れたり、意味に気づかせたりすることができる。
5．ふり返りカード	○児童が本時の授業でどのようなことを学んだのか毎時間書き記すことができる。 （授業のふり返り活動で活用）



移行期間中に使用する新教材です

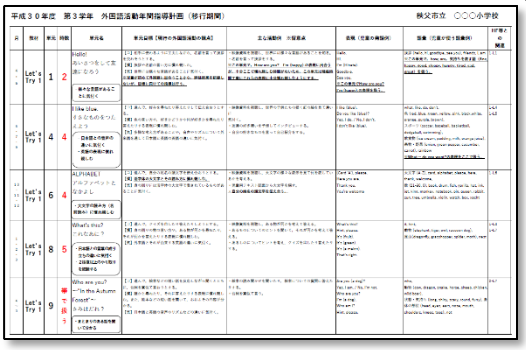
	平成３０年度	平成３１年度
３年生	Let's　Try！1 Story Books “In the Autumn Forest“	Let's　Try！1 Story Books “In the Autumn Forest“
４年生	Let's　Try！1・2 Story Books “Good Morning”	Let's　Try！2 Story Books “Good Morning”
５年生	Let's　Try！2 Hi, friends！1 We can！1 Hi, friends！ Plus （デジタル教材、ワークシート）	Let's　Try！2 Hi, friends！1 We can！1 Hi, friends！ Plus （デジタル教材、ワークシート）
６年生	Hi, friends！2 We can！1・2 Hi, friends！ Plus （デジタル教材、ワークシート）	Hi, friends！2 We can！2 Hi, friends！ Plus （デジタル教材、ワークシート）



先生方を支える強い味

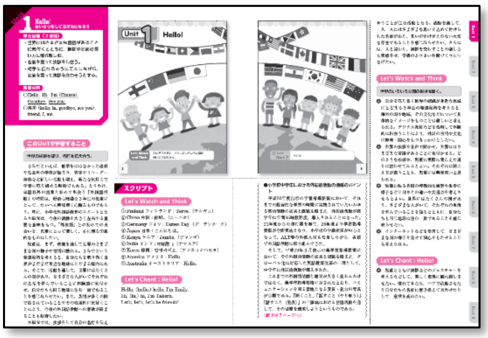
授業前指導者用資料

平成 30・31 年度（移行期間用）
年間指導計画【秩父市教育委員会】



学習指導案例（3～6
生全授業分)【文部科学省】

教師用指導書
【文部科学省】



小学校外国語・外国語活動における
効果的なティーム・ティーチング の進め方
【秩父市教育委員会】

【移行期版】外国語活動
授業づくりブックレット
【秩父市教育委員会】

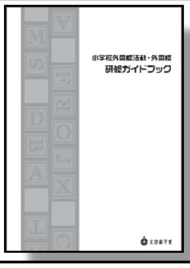
【移行期版】外国語活動
読む書く活動～秩父市文字指
導指針～【秩父市教育委員会】

授業用補助教材

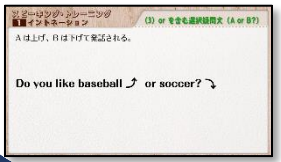
文字指導用補助教材　Hi,friends! Plus
【CD-ROM、文部科学省 HP】

研修用教材

小学校外国語・外国語活動
研修ガイドブック　【文部科学省】



文部科学省 mext チャンネル（YouTube）



平成30年　3月　発行